

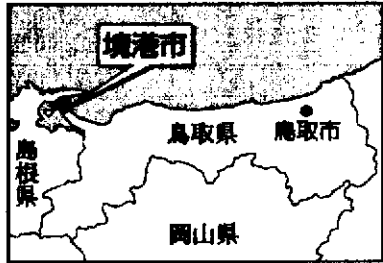
わが街ふるさと

鳥取県境港市(さかいみなと)は伯耆(ほうき)富士・大山をバックにした白砂青松の砂州川浜半島の北端に位置します。人口は約三万七千人。三方を海に囲まれ、島根半島を巨大な防波堤とした天然の良港。古くは北前船や干石船の寄港地として、また明治に入ると朝鮮半島や中国大陸との貿易港としてもにぎわうなど、山陰を代表する交通、交易の要衝として発展してきました。

一九〇二年には山陰で初の鉄道が、境港を起点として開通し、これも交易、物流の拠点としてのにぎわいありを示すものです。

境港はまた、海の幸にも恵まれ、古くから人々は漁に暮らしての糧を求めてきました。私もちよものころ、毎朝の夕べに浜へ下りては地

さかいみなと 鳥取・境港市



交易の要衝、「妖怪」で街づくり

引き網を手伝い、魚をもらって帰ったものです。イワシ、アジ、サバなど大衆魚豊漁の地でした。九二年から漁獲水揚げ量五年連続日本一を記録しましたが、いま長期にわたる極端な不漁に見舞われ、水産加工業と観光に新たな活路を求めて苦闘が続いています。

「鬼太郎」「目玉おやじ」で知られる漫画家、水木しげるさんは境港の出身で、百十九の妖怪ブロンズ像を配した水木しげるロード、氏の独創的な作品世界や世界から集めた妖怪コレクションなどを展示した記念館など、「妖怪」をテーマにした街づくりがすすめられています。昨年は年間八十五万人の観光客を記録しています。

一方で境港には、全国で三カ所しかないスパイ傍受施設、象のおり、や航空自衛隊などが集中しています。ソ連、中国、北朝鮮などをにらんで増強された冷戦時代の遺産です。いまこれらの国々に依存する水産加工原料の安定確保や観光交流の発展のためにも、日本海を平和の海には地域の切実な課題、市民の関心はこ



「目玉おやじ」の妖怪像を携帯に収める観光客

このほか強いものがあります。かつての核廃絶アピール署名は市民過半数を県内でいち早く達成し、全国に広がる九条の会も県内で最初に発足しました。地元の党支部は学習を大切に、校区に根をすえた粘り強い活動をしています。(定岡敏行・境港市)

『わが街 ふるさと』
しんぶん赤旗 06/10/16